

式 辞

冬の寒さが遠のき、満開だった桜の花が散り、葉桜になりはじめた本日、菊川市議会議員の皆さまを始め、多数の来賓の皆様の御臨席を賜り、平成30年度菊川市立菊川西中学校の入学式をこのように立派に挙行できます事はこの上ない喜びであります。

御臨席いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。

(起立 例 着席)

188名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは本日、晴れて菊川西中学校の生徒になりました。

私は入学式で、毎年新入生に聞くことがあります。それは「中学生は大人でしょうか。それとも子

どもでしようか？」です。この質問はあなたたちの先輩である二年生、三年生にも昨年、一昨年の入学式で聞きました。

小学生だった三月、菊川駅から電車に乗る時、あなたたちは券売機の「こども料金」のボタンを押しました。しかし、これからはあなたたちが子どもの切符を持っていると間違いなく車掌さんに「大人の切符を買ってください」と言われます。

では、中学生は大人でしようか。いいえ、あなたたち中学生は選挙で投票することも、お酒を飲むこともできません。もしあなたたちがお酒を飲んでいると間違いなく「子どもがお酒を飲むのは法律で禁止されている」と警察へ連行され、処罰の対象になります。

お家の人からは「もう、中学生

なんだから、子どもみたいなことをしないの」と言われる事もあるでしょう。あるいは「中学生は子どもなんだから、大人の言うことを聞きなさい」と言われるかもしれません。

あなたたちは「なんか、まわり都合によって大人扱いしたり子ども扱いしたり、ずるい。」と思うかもしれません。

私は中学生は子どもだと思っています。しかし、小学生と決定的に違う点は、三年後、あなた達が中学校を卒業する時、大人としての責任を求められる事があるという事です。中学を卒業したら次の誕生日にあなたたちはみんな16歳になります。四月生まれの人は、卒業してすぐですね。16歳になるとあなた達の中の女子生徒は法律により結婚が認められます。当然ながら「お母さん」になるわけで

す。「うちのお母さんは子どもです」は、通用しません。

この場合、完全に大人扱いです。もちろん16歳では、選挙はできませんし、お酒を飲めないのは言うまでもありません。完全に大人では無いのですが、中学を卒業すると「大人としての行動」を求められるということ覚えておいてください。

言うならば、中学校は「子どもとして入学し、大人として行動できるようになって卒業する」学校であるという事ができます。だから義務教育最終の学校なのです。

子どもと大人との違いは、一言で言うならば「自分の回りの状況を良く見て、どうすれば良いかを判断し、自分の考えを持って行動することが出来る」と言うことだと思います。

中学校でも防災訓練を行います

が、その時、私はあなた達の先輩達にこんな話をしました。

「地震が起こって、避難所にたくさんの人が避難して来ました。避難所ではお弁当が配られていません。お弁当はひとり一パックずつだったのですが、奥さんと二人の子どもを連れただけ貫つて列を離れようとしませんでした。お弁当を配っていたボランティアの人が『ひとり一パックですよ』ともう一つ差し出したところ、このお父さんは『私達は三つを四人で分けて食べますから、ひとりでも多くの人にお弁当がいきわたるようになしてください。』』と言って、三パックだけ貫つていった」という話です。

このお父さんは避難所に積みまれているお弁当の数と、避難していた人の人数を見渡して「この数で

は、みんなに行き渡らないかも知れない」と判断し、「少しでも多くの方が食べられるように、『自分達は三パックを家族四人で分け合えばよい』と考えたのです。

たぶん、地震で家がつぶれ、命からがら、二人の子ども達の手を引いて逃げてきたはずです。どんなに疲れていた事でしょう。どんなにお腹が空いていたことでしょう。「弁当だけじゃなくて、寒いんだから熱いお茶も欲しい！」と大声を上げたくなっても不思議ではありません。

「もし、みんなが奪い合えばどんなにものがあっても足りないけれど、分け合えば余る。」お父さんはこのように考え、避難してきたみんなのために「分け合うこと」を選択しました。

確かに、200人の避難者に150食のお弁当しかなく、みんなで奪い合

例えば、50人の人は確実に食べるこ
とが出来ません。また、ひとりで
ニパック持っていく人がいたら食
べられない人の数はもつと増える
でしょう。しかし、四人で三パッ
クを分けて食べれば、200人全員が
食べられます。

どうですか？「自分で判断し、
自分の考えで行動する」と言うこ
とがイメージできたでしょうか。

あなた達が、このような「責任
ある行動」ができるようになるた
めに中学校では、小学校とは違う
様々な事を学びます。

週一時間だった英語は中学校で
は四時間になります。また、小学
校で「算数」「図工」と言っていた
教科はそれぞれ「数学」「美術」と
いう言い方に変わります。算数で
はなく数学です。数学の「学」は
「学問」という意味で、美術の「術」

は芸術という意味です。

あなたたちは中学校で「学問や芸術の世界」に足を踏み入れることになります。

小学校で児童会と言っていた活動は中学では生徒会と言い、選挙で選ばれた生徒会長を中心に小学校とは比べものにならない多くの仕事を生徒の力だけで進めます。すべては、あなたたちが責任ある行動が出来るようになるために用意された学習です。

さらに、小学校にはなかった「部活動」が始まります。部活動を楽しみにしている人も居るのではないでしようか。

中学校の部活動は、全国大会まで続く「中体連夏の公式戦」というものがあり、通常八月の20日前後に全国大会が終了します。そして、秋から冬にかけて部活動の主役が三年生から二年生にバトント

ツチされます。昨年、私はあなた達の先輩に「試合は個人種目もある、でも、練習はどの種目も団体戦だ。」と話しました。

私は学生時代水泳選手でした。スタート台に立つともう誰の助けも受けられません。自分の力だけで泳ぎきらなくてはなりません。正に「個人戦」です。しかし、練習は違えます。同じ量の練習をしても、チームワークの良いチームと悪いチームでは差が出ます。ではチームワークとは何でしょうか。

去る二月に開催された冬季オリンピックのスケート種目に、三人の選手が縦一列に並んで滑り、最後尾の選手がゴールを通過したタイムで勝敗を争うパシユートと言う競技がありました。

選手達のスピードですと選手が受ける風の抵抗は大体速度に、もう少し速い速度になると速度の二

乗に比例します。「二乗」が分りませんね。この意味は数学ですぐ学びます。楽しみにして置いて下さい。いずれにしても三人のうち先頭を滑る選手はもろに風を受け、体力を消耗します。そして先頭交代です。次に先頭に立った選手は前の選手に守られて蓄えた力を使って風と戦い、後ろの二人の選手を守ります。このようにして順に先頭を交代しながら、つまりお互いに守り合いながら三人まとまって滑り、最後尾の選手がゴールしたタイムがチームの記録です。この競技で体の小さい日本女子チームは大柄な選手を三人そろえたオランダチームを破って金メダルを獲得しました。

日本チームの選手たちは風除けになってくれた前の選手の滑りを大切にし、前の人の滑りを無駄にしないように自分の滑りを付け加

え、総合タイムでオランダチームを上回りました。「このようにチームの全選手が同じ価値観を持ち、各選手は他の選手のプレーを大切なものと思つて尊重し、それに自分のプレーを付け加えていくことによつてひとり一人の力の単純な足し算以上の力を発揮する」のがチームワークです。

一人一人のパワーはオランダの選手達の方が上かもしれませぬ。しかし、チームワークがパワーの差を埋められるということを日本女子チームの選手達は教えてくれました。私が「試合は個人戦もある、しかし練習はどの種目も、いつでも団体戦」と言う理由です。

中学校生活全体も団体戦です。

今日この日からあなた達188名の中学校生活、団体戦がスタートします。先ほどお話した「責任ある大人の行動」ができるようになる

めに用意された学びを一つ一つチームワークで乗り越えて下さい。

保護者の皆様、本日はお子様の御入学おめでとうございます。保護者の皆様にとっても、中学校の三年間は日に日にわが子が大人になっていくのがわかる時だと思います。「小学校の時はあんなにいろいろ話してくれたのに急に無口になった」、「いつも不機嫌な表情をするようになった」など、親として戸惑われる事もいっぱいのはずです。実際私も一女、二男の三人の子ども達を育てましたが、やはり苦労しました。やんちゃで手を焼いた三番目の子も現在大学二年生になりました。私の経験では、子どもたちが一番不安定になるのが中学校時代でした。保護者の皆様の支えが一番必要になる時でもあります。子育てに悩まれた時には、遠慮なさらずに本校の先生た

ちに御相談ください。

来賓としておいでいただいた地域の皆様、毎年言うことですが、子どもたちは「地域の宝」です。本日、菊川西中学校は地域の宝、人を確かにお預かり致しました。188
本校が理念として掲げている「根っ子郷育」は「郷育」と言う字を当てています。学校・家庭・地域が一体となって「地域に誇れる、地域が誇れる菊西中生」を育てようと言う思いを込めたからです。そして、三年後には立派に成長した子どもたちを皆様の元にお返しすることができるよう精いっぱい努力することをお約束し、式辞とさせていただきます。

平成三十年四月六日

菊川市立菊川西中学校

校長 森田昌浩